

第12回 星ヶ丘医療センター地域連絡協議会 議事録概要

日時 令和元年11月14日(木) 14時30分～15時40分

場所 新会議室A

出席者 【院外】地域の医師会代表2名、地域の行政職員1名、住民代表2名

【院内】院長、副院長(1名)、看護部長、副看護部長(1名)、事務部長、
地域医療連携室長

- 議題
1. 定期報告(令和元年7～9月)
 2. 前回の地域連絡協議会でいただいたご意見やご提案について
 3. 当院に対するご意見やご提案について
 4. その他

会議内容

・委員長より本年度新委員に就任にした以下の方々の紹介があった。

枚方市役所長寿社会部長、星ヶ丘医療センター副院長

1. 定期報告(令和元年7～9月)

- (1) 紹介件数・紹介率について
- (2) 逆紹介件数・逆紹介率について
- (3) 救急搬送件数の推移について

(外部委員)

→医師会として患者の受け入れや、病診連携研究会等を通じて星ヶ丘医療センターと密に病診連携を行えていると考えている。国が定めた指標でそれらのことを示すことは難しいと考える。

・逆紹介件数が大幅に増えているのはどうしてか。

→新たに着任した医師が積極的に逆紹介を行っていることが考えられる。

2. 前回の地域連絡協議会でいただいたご意見やご提案に関する当院の取り組みの報告について

(1) 研修会や公開講座に関すること

①「多職種連携勉強会」の開催について関係する医療・介護機関代表委員欠席のため、渉外推進室長より代理で報告を行う。

7月11日 星ヶ丘医療センター会議室にて多職種連携勉強会を開催した。参加職種は医師、歯科医師、薬剤師、介護職等。参加者数は68名であった。内容は枚方市危機管理室員より「枚方市災害リスクと防災体制について」、星ヶ丘医療センター集中認定看護師による「災害医療における当院の役割」について講演を行った。その後「要援護者の避難先と受け入れについて」をテーマにグループワークを行った。引き続き第6圏域では、星ヶ丘医療センターと大阪精神医療センターの会場を交互にお借りし、多職種連携勉強会を年2回開催していきたいと考えている。引き続き、協力をお願いしたい。

②星ヶ丘医療センター 脳卒中市民公開講座の開催について

「脳卒中になったら? 知っておきたい医療と介護」をテーマに、11月30日13:30よりメセナひらかたにて開催する。星ヶ丘医療センター 脳卒中内科院長補佐、枚方市地域包

括支援センター松徳会所長よりご講演をいただく。また、看護師による健康相談、地域包括支援センター職員による介護相談を受け付ける相談ブースを設置する。

来年5月16日もしくは5月30日に消化器をテーマに市民公開講座を開催する予定である。

(2) 当院の診療機能、医療連携に関すること

今後の当院の病院機能について（院長）

JCHO 本部より各病院に対して各年度で重点的に取り組む指標として、救急医療の観点から救急応需率 85%か、地域における医療連携の観点から、地域包括ケア病棟の在宅復帰率 80%のいずれかを選択するように求められている。当院の救急応需率は 80%前半で推移している。今後も引き続き救急応需率を高めていくが、現在地域包括ケア病棟の在宅復帰率 85%の要件を満たしているため、今年度は地域包括ケア病棟の本来の姿である、直接、地域医療機関から地域包括ケア病棟への患者受け入れを行っていきたいと考えている。

(外部委員)

・地域包括ケア病棟へ入院紹介する患者とは、どのような状態の患者ですか。
→軽症肺炎など軽微な治療の必要な患者や、リハビリを行い在宅生活が可能となる患者など、短期入院で在宅を目指す患者を想定している。

(3) 行政や医師会等に対する当院や協力に関すること

「交野市健康リーダー養成講座」の開催について委員欠席のため、渉外推進室長より代理で報告を行う。

全 9 回開催される健康リーダー養成講座のうち、第 1 回目の講座が 9 月 6 日に開催され、当院 糖尿病内科部長が講師を務め、生活習慣病予防をテーマに講演を行った。参加者は 21 名であった。参加者の反応もよく、講義について「理解できた」19 名、「ほぼ理解できた」2 名と好評であり、参加者からは、さっそく今日学んだことを市民や仲間に伝えていきたい。自分も実践していきたいなどこれからの活動につながる話しが聞け、意欲が高まったとの意見をいただいた。

(4) 上記以外の活動報告

11 月 13 日 13:30 より当院にて「糖尿病について学ぼう」をテーマに市民公開講座を開催した。参加者は 23 名であった。内容は医師、看護師より講義を行い、理学療法士による運動の実技を行った。

3. 当院に対するご意見やご提案について

(1) 研修会や公開講座に関すること（地域住民・地域医療機関等）

(外部委員)

行政、医師会、医療機関が連携して、糖尿病予防、症状を悪化さない取り組みを進めていきたいと考えているため、各医療機関の協力をお願いしたい。

糖尿病専門医、腎臓専門医が集まり、糖尿病患者をこれ以上増やさないため、様々な機関と連携できないかを検討している。星ヶ丘医療センターの糖尿病専門医の協力をお願いすることがあるかもしれない。

(2) 当院の診療機能、医療連携に関すること

(外部委員)

1年以上外来通院の空き期間のある予約患者が、診察券を再診受付機に通したが受け付けなかった。保険証確認後でなければ診察券を受け付けない仕組みになっているのであれば、その旨を案内してほしい。待ち時間もなかったと思う。

→対応を検討する

(外部委員)

毎回受診時に保険情報の変更が無いことを確認しているのにも関わらず保険証をコピーされるが、コピーは必要なのか。

→対応を検討する

(3) 行政や医師会等に対する当院の役割や協力に関すること

特になし

4. その他

(1) 星ヶ丘医療センター診療科案内の発刊について

星ヶ丘医療センター診療科案内 2019 を発刊した。来年6月に第2版を発刊する予定である。診療科案内についてのご意見があれば、お待ちいたしております。

(外部委員)

以前の星ヶ丘医療センターのホームページは古い情報が掲載されていたが、最新情報に更新されていた。どの様な患者を受け入れていただけるのか、手術していただけるのか、それらの内容を掲載していただいたので、紹介する際の参考になる。

(2) 新しい連携登録医について

新しい連携登録医制度を検討しており、今日はその件について紹介させていただく。現在開放型病床登録医として177医療機関が登録されている。その他、提携関係に関する契約として、緊急時の受け入れに関する契約、インターネット回線を通じて院内のカルテ閲覧ができる契約がある。今回、それらのものを星ヶ丘連携登録医として1つにまとめたいと考えている。一つ目は連携かかりつけ登録医というものであり開放型病床登録医も含め、かかりつけ医と当院との役割分担を相互に理解し、積極的に紹介、逆紹介を行う医療機関。二つ目は訪問診療連携登録医というもので、在宅療養支援診療所で在宅訪問診療を行っている医療機関。三つ目はオープンカルテ契約登録医である。これら3つの登録医のうち1つでも登録いただければ、星ヶ丘連携登録医として登録させていただく。

年末年始を目途にデジタルサイネージを導入し、患者、家族へ連携登録医の写真や基本情報をテレビ画面で紹介していく予定である。二つ目の取り組みとして、事前に登録医の先生に受け入れ可能な診療内容の調査を行い、その調査結果を基に紹介させていただくことにより、当院より適切な逆紹介先の情報を患者へ提供出来る。三つ目は当院のホームページに連携登録医を紹介する項目を設け、登録医のURLを掲載できるため、当院のホームページから登録医のホームページへ繋がることが出来ます。このような取り組みを進めて行き開業医の先生方との連携を強化していきたいと考えている。

11月下旬から12月初旬を目途に各医療機関へ新たな登録医の案内文を郵送予定。

以上